

「新しい地図帳」 検討の観点から見た内容の特色

観点	観点項目	「新しい地図帳」の特色
学習指導要領への対応	学習指導要領に示されている教科の目標達成のための内容の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ● 地図や地球儀を効果的に活用し、国土に対する地理的理解や社会生活への理解を深める学習を進められるよう配慮した内容としています。 ● 広い視野から国土を眺めることができる地図を複数配置し、日本の位置および範囲、領土に関する問題、自然災害と防災などについて正確な理解が図れるようにしています。 ● 我が国の歴史や伝統・文化に関する内容を充実させています。 ➡ 15-16日本とそのまわり、18-22日本列島—南西諸島から北海道—、75-78日本の歴史、79-80日本の歴史と文化 ● 日本の世界遺産 ●、97-99日本の自然災害 など
内容	児童の発達段階への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ● 3年生からの使用をふまえ、地図の仕組みと約束事を分かりやすく解説した、地図学習のページを新設しました。 ➡ 7-12まちを上からながめてみよう、真上から見ると地図になるよ、市を見わたしてみよう ● 中学校の地図帳との接続を見すえ、小学校段階での学習の充実と発展を図ることができるよう、内容をよく吟味、精選し、地図に親しみがもてる工夫をしました。
	児童の関心・意欲を引き出すための工夫	<ul style="list-style-type: none"> ● 冒頭の世界と日本のイラストマップで、世界や日本のさまざまな事物を紹介し、児童の「何があるんだろう」「地図帳で調べてみたい」という意欲を喚起するようにしました。 ➡ 1-4世界のぼうげんに出発！、発見！わたしたちの日本 ● 男女の児童キャラクターのほか、はかせや冒険船の船長などのキャラクターを随所に置いて、地図活用の手がかりを児童の言葉で提示するようにしました。
	基礎的・基本的な知識・技能の習得	<ul style="list-style-type: none"> ● 地図記号、索引、方位、縮尺、地形表現、土地利用といった基本的な地図の読み方を丁寧に解説しています。また地球儀の活用の仕方について、写真で分かりやすく説明しています。➡ 11-12市を見わたしてみよう、13-14地図帳の使い方、55-56世界全図と地球儀 ● 離島にある市町村も含め、地図および索引で全市町村名を網羅しています。 ● 日本の47都道府県を、クイズなどの楽しい作業を交えながら確実に習得できるようにしています。➡ 5-6日本の47都道府県 ● 日本は標準的な8地方区分、世界は州ごとに、原則として縮尺を統一した地図を配し、適宜拡大図を設けて、各地域の地理的理解を深めるとともに、位置関係を調べたり地域相互の結びつきや比較など多面的な学習が展開できるように構成しました。
	主体的に学習に取り組む工夫	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本と世界の一般図に続く、資料地図のページでは、テーマの資料図を大きく表現し、読み取りやすく、学習のねらいを明確にして児童が理解しやすいようにしています。 ➡ 69-80日本の自然／産業／貿易／歴史／文化、81-82くらべてみよう日本と世界 ● 使用頻度の高い統計資料、索引に十分なページをとり、行間をあけて見やすくしました。また索引にはチェック欄を設けて積極的な活用ができるようにしました。 ➡ 83-86日本と世界の統計、87-96さくいん（合計14ページ）
地図・資料の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ● A4の判型を生かして、広い範囲を紙面に収めています。➡ 25-26福岡県とそのまわり（長崎市、熊本市まで）、27-28中国地方（隠岐諸島まで、竹島の詳細図を追加）など ● 中部地方のうち、独自に結びつきの強い北陸地方を別建てで示しました。また、新潟県の全体を見渡すことができるようにしました。➡ 39-40福井県、石川県、富山県／新潟県 ● 主な歴史の舞台（青い枠囲み）、世界遺産、ラムサール条約や世界ジオパークの登録地などについて、個別の記号を設けて注目させるようにしました。➡ 13「凡例」を参照 ● 各地の伝統工芸品や名産品、郷土の偉人に関する記念館などを多数取り上げ、郷土に対する誇りと愛情をはぐむようにしています。➡ 51「雄勝硯」「稲庭うどん」「わんこそば」、41「新美南吉記念館」「杉原千畝記念館」など ● 世界の国々と国旗を一覧で掲載しています。➡ 100-102世界の国々と国旗 	

観点	観点項目	「新しい地図帳」の特色
構成・分量	組織的・系統的な配列	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界と日本のイントロダクションとなるイラストマップに始まり、日本列島を見渡す地図、日本の地方図と都市圏図、世界全図、世界の州ごとの地図、資料図、統計資料、索引と系統的に配列され、扱いやすい構成です。
	他教科等や家庭での活用につながる工夫	<ul style="list-style-type: none"> ● 外国語の授業に活用ができるよう、世界地図に国名および大陸名と海洋名の欧文表記を併記しています。➡ 57-68世界地図、55-56世界全図と地球儀 ● 日本の地形、気候や自然災害の資料図は、理科でも活用できます。➡ 69-70、97-99 ● 世界の料理や日本の郷土料理の資料は、家庭科でも活用できます。➡ 64、84 ● オリンピックとサッカーワールドカップ開催地の地図は、体育でも活用できます。➡ 85 ● 日本地図、世界地図の中に、国語や音楽、道徳などの学習に役立つ人物イラストや、記念館などを豊富に掲載しています。➡ 27「金子みすゞ記念館」、51「宮沢賢治記念館」、57「植村直己」、61「野口英世」、63「杉原千畝」「ペートーベン」など ● 修学旅行や校外学習、また家族での旅行にも使える、東京および京都・奈良の市街地地図を掲載しています。➡ 47-49首都東京、35-36京都市・奈良市・斑鳩町
	深い学び、発展的な学習につながる工夫	<ul style="list-style-type: none"> ● すべての日本の世界遺産（自然・文化）について、写真付きで取り上げました。また歴史地図には各地の名所や祭りを、日本の統計には国宝・重要文化財の数の項目を設け、地域の宝といえる資源に目を向けてさらなる保護・活用につながるようにしました。➡ 79-80日本の歴史と文化 ● 日本の世界遺産 ●、83-84日本の都道府県の統計 ● 日本の歴史を学びながら、同時代の世界の様子が分かる、世界スケールの歴史地図を新設しました。➡ 75-78日本の歴史 ● 世界とのかかわり ● ①② ● 日本の自然災害について、日本列島全体の災害地図を配し、地形や気候などとの関係から災害の起きる要因や防災対策について考察させるようにしています。また海溝やトラフについても記載しています。➡ 97-99日本の自然災害、70（海底地形の説明） ● 「D（デジタル）マーク」を随所に設け、学習を補完する自社作成デジタルコンテンツや、学習を深めるWebサイトへのリンクを利用できるようにしました。➡ 96に説明
表記・表現	親しみやすく読みやすい表記	<ul style="list-style-type: none"> ● 地図中の文字や記号は大きく、字体（フォント）も丸ゴシック系の親しみやすいものにしました。特に都道府県名は赤の太字に白緑取りをして見やすくしました。 ● 読みやすさと見やすさを追求したユニバーサルデザイン（UD）書体を使用しています。 ● 地名はすべてに、その他の文章などは3年生配当以上の漢字にふりがなをつけています。 ● 図や写真の説明文などはすべて文節改行にして、読みやすくなるよう配慮しています。
	見やすく鮮やかな彩色・色調	<ul style="list-style-type: none"> ● 海底部の青色、都市部の黄色、平地の緑色から高地の茶色までメリハリのある色調で表現しました。反射がきつすぎない用紙を用いて、目が疲れないように配慮しています。
	色覚特性への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ● 色のみによる文字や図形の判別を避け、形を変えて区分するようにしています。 ➡ 75-78日本の歴史（行路の線の表現）、85オリンピック（夏季と冬季の区別）とワールドカップ、83-84日本の統計（上位5位までを赤色の太字で示す）など ● カラーユニバーサルデザインに取り組むボランティア団体の協力を得て、色にかかわる表現を点検するとともに、だれも見やすく分かりやすいレイアウトを心がけました。
印刷・製本	堅牢な製本、環境に配慮した用紙とインク	<ul style="list-style-type: none"> ● 3年生から6年生までの4年間の使用に耐えるよう、丈夫な糸かがり製本を用いています。また、中央部（ノド）は十分に開いて紙面が見やすくなるようにしました。 ● 折込ページの折り目部分にニス引き加工を施し、破れにくくなるよう強化しています。 ● 本文ページには発色が良く、光の反射を適度に抑えた再生紙を使用しています。すっきりと見やすだけでなく、児童が書き込みをする場合にも対応しています。 ● 環境に配慮した再生紙・植物油インクを使用しています。